

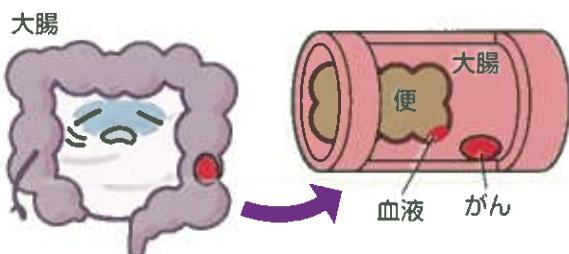
新しい便潜血検査

便中のヘモグロビンとトランスフェリンの同時測定

専用の採便容器に便を採ることで2つの成分を一度に測定できるので効率的です。



- 便潜血検査・トランスフェリン測定について -



大腸がんが大きくなってくると便に血液が混じるようになってきます。従来の便潜血検査は、便中のヘモグロビンを測定して、その量により陰性・陽性を判定します。



しかし便中のヘモグロビンは、大腸での滞在時間が長いと、大腸内の細菌によって失活する場合があります。



便中のトランスフェリンは、血液の成分の中で細菌に対して安定です。この成分をヘモグロビンと同時に測定することで、大腸での出血情報をより正確に得ることができます。